

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

newsline

2011/ 12

第9回京都青年中央会祭（capフェスタ）を開催	1
第63回中小企業団体全国大会に参加	2
再発見！連携のチカラ No.54 熊野ワークス企業組合（滋賀県）	3
はじめてみませんか？ネットで申告・納税！	3
中央会News ・平成23年度協同組合部会研修会を開催	4
・協同組合部会第2分科会を開催	4
・京都府・京都市の環境施策説明会を開催	5
・平成23年度女性中央会近畿ブロック交流会に参加	5
京都地域中小企業ものづくり技術者支援事業のご案内	6
東日本大震災義援金のご報告とお礼	6
大丈夫ですか？あなたの会社のメンタルヘルスケア！	7
京都経済お天気	8
お知らせ 新年賀詞交歓会・北部地域新年懇親会	8

京都青年中央会・京都府中小企業団体中央会 主催 第9回京都青年中央会祭（capフェスタ）を開催

去る11月6日（日）、梅小路公園（京都市）において、『Kyo-yu』をテーマに第9回京都青年中央会祭（capフェスタ）を開催、各青年部の特色を活かしたブースやステージイベントが繰り広げられ、生憎の空模様にもかかわらず、多くの親子連れで会場は賑わった。

今回の特別ブースでは、小学生から就職を考える年代の方々が、京都に根付く会員青年部の仕事を体験し、将来の就職に役立てていただけるよう「capできるかな？みんなで教わる京の技！」コーナーを設置し、手打ちうどん体験（京都府製麺卸協同組合青年部）、竹トンボ教室（京都竹材商業協同組合青年部京都竹青会）、左官体験（京都左官協同組合）などが行われ、参加者は京の手仕事を楽しみながら体験された。

また、東北復興応援プロジェクト「共友～アナタのまごころ花にのせて届けたい」チャリティーブースでは、震災により色を失った被災地の保育園や小・中学校に花壇を整備し花を届けるため、多くの来場者から募金やメッセージが寄せられた。



開会挨拶：京都青年中央会内藤会長・本会池本副会長



オープニング
セレモニー



チャリティー
ブース
「共友～アナ
タのまごころ
を花にのせて
届けたい」



京都府仏具協同組合
工部青年会による塗
お箸の研ぎ出し体験



西陣意匠紙工業協同組合青年会による手
機体験



京都府石材業協
同組合石青会に
よる石あかり作
成体験

「ごめんなさい」「ありがとう」 すなおな心のあい言葉

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

第63回中小企業団体全国大会

～立ち上がろう！中小企業 絆を活かして～

去る11月17日（木）、第63回中小企業団体全国大会が、名古屋国際会議場（愛知県）において開催された。同大会には全国から中小企業団体の代表者ら約3,000名が参集、『立ち上がろう！中小企業 絆を活かして』を大会キャッチフレーズに、東日本大震災からの復旧・復興を加速的な実施、円高・空洞化対策と国内立地企業への支援の強化を具体化するための中小企業対策の拡充に関する11項目について決議された。

さらに、本大会の意義を内外に表明するため、宮城県中央会の後藤久幸会長が、決議事項の早急な実行を求めるとともに、中小企業・中小企業組合が地域社会の絆を再生し、力を組織に結集して豊かな社会を実現するよう全力を尽くすことを誓うとした『大会宣言』を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択された。

本会からは同大会に渡邊隆夫会長をはじめ27名が参加、組合功労者として、京都測量設計協同組合の牧草弘師相談役、共栄企業組合の三好啓之理事長が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞された。



組合功労表彰を受賞された
共栄（企）三好理事長（写真右）
京都測量設計（協）牧草相談役（写真左）

第63回中小企業団体全国大会決議項目

- I. 東日本大震災からの復旧・復興の加速化
 1. 津波・地震被害対策、被災中小企業・組合等の復旧支援の拡充
 2. 東京電力福島第一原子力発電所事故の早期収束
- II. 円高・空洞化対策と国内立地企業への支援の強化
 1. 円高・産業空洞化対策の迅速な実施
 2. 組合等連携組織対策の強化、中央会への支援の強化
 3. 公正な競争環境の整備、官公需対策の強化
 4. 万全な資金繰り対策の継続及び中小企業金融機能の拡充
 5. 国内産業を活性化させる中小企業関係税制の拡充
 6. 社会保障制度の見直し
 7. 中小企業の実態を踏まえた労働・教育対策の推進
 8. 商店街等及び中小小売商業の活性化支援の拡充
 9. 中小流通業・サービス業振興対策の強化

宣 言

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という我が国観測史上最大の巨大地震が発生した。宮城県の県北地域では、震度7を記録し、地震がもたらした大津波は、北海道から沖縄県までの広い範囲に押し寄せた。

この大津波により、東京電力福島第一原子力発電所の電源施設が破壊され、我が国史上最悪の原発事故となった。原子力発電所の事故は、周辺地域住民の生活を破壊するとともに、電力供給不足という形で全国にもその影響が及んだ。さらに、急激な円高等いわゆる「6重苦」により、日本から海外へ企業移転が加速化するなど国内産業は空洞化の危機に直面している。

こうした中、中小企業は、組合のもとに団結し、新たな「つながり」を強化し、地域の再生に向けた挑戦を始めている。仮設店舗の組合、共同冷蔵施設を持つ水産加工組合、組合ぐるみで海外展開する組合などが新たに誕生している。また、組合同士による友好協定や自治体との災害協定を締結する動きが全国的に広がっている。

全国の中小企業団体の代表三千名は、本日、ここ愛知県に集い、震災の復旧・復興と円高・空洞化対策等について、組合の原点である「相互扶助」「絆」の力を活かした施策の充実強化が必要であることを決議した。

政府は、日本経済の再活性化を担う中小企業一社一社が成長・発展を実感できるよう、本大会の決議事項を早急に実行すべきである。

われわれもまた、地域社会の絆を再生し、持てる力を組織に結集して、新たな雇用と豊かな社会が実現されるよう全力を尽くすことを誓う。

右宣言する。

平成二十三年十一月十七日
第六十三回中小企業団体全国大会

共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例をご紹介しますこのコーナー。今回は、地域住民が組合を設立し公共施設の指定管理者となり、過疎化が進む集落の活性化に取り組んでいる事例です。

熊野地区住民が一丸となり人気キャンプ場運営を受託

熊野ワークス企業組合（滋賀県蒲生郡）

過疎化集落「熊野」住民が力を合わせ、人気キャンプ場「グリム冒険の森」の指定管理者として運営を受託。棚田保全活動なども合わせて、地域の重要な施設に成長させた。

背景と目的

本組合は、町営施設「グリム冒険の森（コテージ&オートキャンプ場）」の平成17年における指定管理者制度の受託組織として、熊野地区の地元住民が中心になって設立された企業組合である。組合員は、地域住民を中心として25人となっており、事業実施にかかる従事組合員数は16人、うち現場運営は7人のスタッフで行っている。組合員には、町営時代からの従業員も3名含まれており、同施設に関連する多種多様なイベントなど活発な事業活動を行っている。

事業・活動の内容

グリム冒険の森の中核とした事業運営を図っており、事務局長を中心に現場実務を7人のスタッフで推進している。主要事業は、収益事業の「コテージ&キャンプ場運営」、地域貢献型の非収益事業である「棚田保全活動」や「農家民泊」の支援窓口事業の3つである。「グリム冒険の森」は、グリム童話の生みの親、グリム兄弟がエッセンスを収集したといわれるドイツ・メルヘン街道に似ているところから作られた自然環境豊かなエリアにある施設である。「森の学校&リース&草木染め体験」「石窯オープン体験」など多種多彩なイベントを連携させ、シーズン中はほぼ100%程度の稼働率を達成している。また、農家民泊は、日本各地の学校から自然体験型修学旅行生を受け入れ、近年ではオーストラリアなどの学生など海外からの引き合いも増加している。

さらに、関連事業として「マウンテンバイク大会」の運

営協力など同地域を中心とした各種地域イベントでも重要な拠点となっている。



成果

キャンプ場等の運営により安定的な収益を上げている。多種多様なイベントの実施によるコテージやキャンプ客の魅力を高めることで、平成21年度に売上高約4800万円、当期純利益363万円と黒字経営を続けている。

また、非収益活動においても、放置されつつある棚田の保全活動や過疎化が進んだために休止していた夏祭りの再開など地域の活性化に寄与している。

【組合DATA】

熊野ワークス企業組合

〒529-1623 滋賀県蒲生郡日野町大字熊野431番地

☎ 0748-53-0809 FAX 0748-53-1552

URL <http://www.ex.biwa.ne.jp/~grimm/>

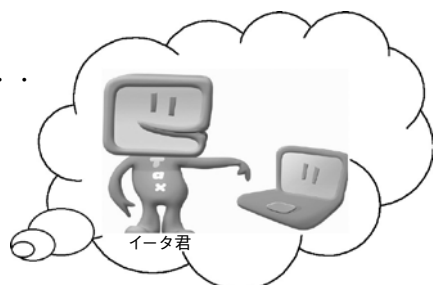
はじめてみませんか？ネットで申告・納税！

インターネットを利用して、申告、申請・届出等ができます。
所得税の申告で e-Tax を利用（電子証明書を取得した場合）すると・・・



- ①平成23年分は4,000円の税額控除（一定の要件あり）
- ②還付金がスピーディー
- ③添付書類の提出省略（一定の要件あり）

詳しくは、e-Tax ホームページをご覧ください。
www.e-tax.nta.go.jp



税 務 署

平成23年度協同組合部会研修会を開催

本会協同組合部会（部会長：京都府仏具協同組合 若林卯兵衛理事長）は、去る11月10日（木）、リーガロイヤルホテル京都において研修会を開催、組合代表者をはじめ傘下組合員企業の代表者等約120名が出席した。

本年度の研修会は、一層複雑化する国際社会・経済情勢についての現状認識を深めるため、同志社大学大学院ビジネス研究科教授の浜矩子氏を講師に招き、「どうなる、これからのグローバル経済と日本」と題した講演を拝聴した。

浜氏は、「波乱万丈、物情騒然の緊迫感に満ちたニュースが伝わってくる毎日であるが、心しておくポイントが三つある。1つ目のポイント“財政恐慌”、2つ目のポイント“どんぐり戦争”は、恐るべき怖いポイントであり、3つ目のポイント“1ドル50円時代”は恐るるに足りないものである。」と述べられ、ギリシャ・ポルトガル・アイルランド・スペイン・イタリアにおいて起きている危機的状況、TPP問題をはじめとする国際社会・経済情勢の現状について説明された。また、厳しさを増す企業の生存競争の中での今後の展望について、「どんぐり達が潰し合うことを回避するために目指すべき方向性は、“国富論を越えていくべし”。言い換えると“僕富論から君富論”への発想の切り替えである。それは、“自分の富さえ増えればいい”から、“あなたの富さえ増えることを考える”ことであり、この考え方は国と国や企業と企業の間にも生まれてもよい。この研修会場を出た瞬間から君富論の実現に向けて取り組んで頂きたい。」と述べられた。



開会挨拶：若林 協同組合部会長



講師：同志社大学大学院ビジネス研究科教授
浜 矩子氏



研修会終了後、会場を移し第2分科会（委員長：京都府プラスチック協同組合 宮本研二理事長）を開催。出席された機械・金属・化学関連の組合の代表者から業界の現状等が報告されるとともに、意見交換が行われた。本年度初めて開催された分科会であったが、今後も頻繁に分科会を開催し、中央会内の業種別組織として利活用する分科会のあり方や具体的な分科会事業等について協議することが提案された。



協同組合部会では、各分科会ごとの研修会や懇談会の開催を検討しており、業種別組織である分科会活動を活発にすることで、所属組合及び傘下組合員企業の活性化を目指す。

京都府・京都市の環境施策説明会を開催

本会環境委員会（委員長：松井昭憲副会長・京都中央葬祭業協同組合理事長）は、地球温暖化問題への対応が企業経営にとって避けて通れない課題であり、また、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故が電力需給の逼迫をもたらし、節電・省エネが緊急の課題となるなど、環境問題への取り組みがこれまでも増して重要となっていることから、去る11月21日（月）、京都ガーデンパレスにおいて「京都府・京都市の環境施策説明会」を開催、組合代表者をはじめ組合事務局責任者、傘下組合員企業の代表者等約60名が出席した。

説明会では、京都府文化環境部地球温暖化対策課副課長の松田克也氏より、社会全体のコストを最小限に抑えながら、府全体の温室効果ガス排出量の削減を目指す「京都版CO₂排出量取引制度」の目的及び概要について、京都市環境政策局地球温暖化対策室担当係長の西尾由輔氏より、京都市における地球温暖化対策の取り組み「DO YOU KTOTO ? クレジット制度」について制度創設の背景・目的及び今後の課題について説明された。また、京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター長の新井吉久氏より同センターの事業内容について、廃棄物ゼロエミッションの事例を交えた説明が行われた。

環境関連の事業は新たな事業分野として注目されており、中小企業においても環境対策と事業活動の強化との一体的な取り組みが期待されている。



開会挨拶：松井委員長

平成23年度女性中央会近畿ブロック交流会に参加

去る11月22日（火）、浜湖月（滋賀県長浜市）において、滋賀県中央会の女性部組織である“しが中小企業女性中央会”の主催により、中央会女性部組織による近畿レベルでの地域・業種を越えた女性の交流・連携を活発にすることを目的に「女性中央会近畿ブロック交流会」が開催された。本会の女性部組織である京都府中小企業女性中央会からは、伊庭節子会長（本会理事・八島おかみさん会会長）をはじめ18名が参加、4府県（大阪府・滋賀県・福井県・京都府）合わせて約80名が参集した。

はじめに、国宝や重要文化財が数多く点在している竹生島を視察した後、交流会が行われた。交流会では、各女性中央会の会長より、本年度の主な活動内容について説明が行われるとともに、各テーブルにおいて活発な情報交換を行い、会場には経済の閉塞感を感じさせない笑顔が満ちあふれ、来年度は京都において再び集うことを誓い、散会した。



竹生島視察

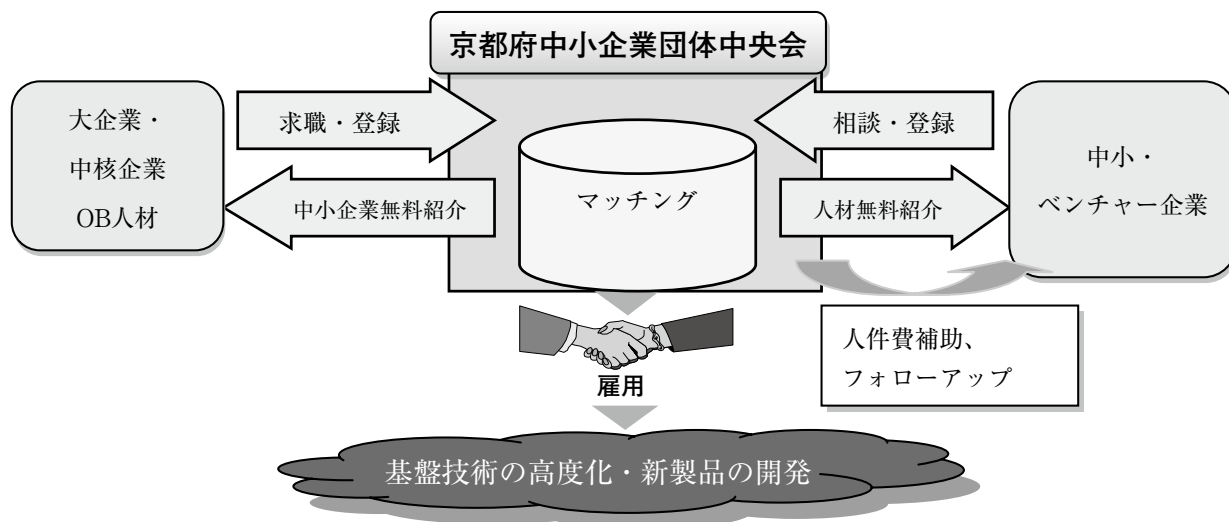


交流会での活動発表

「京都地域中小企業ものづくり技術者支援事業」のご案内

本会では、京都府・京都市と共同で、経験や知識の豊富な大企業や中核企業等のOB人材(定年退職者、途中退職者等)の方々と優れた人材を積極的に活用したい中小・ベンチャー企業等を結びつける「京都地域中小企業ものづくり技術者支援事業」(重点分野雇用創出事業)を実施します。

平成23年9月22日より、就職希望されるOB人材及びOB人材等を活用される中小・ベンチャー企業等を募集していますので、是非ご活用下さい。



募集期間 平成23年9月22日(木)～平成24年1月31日(火)
※ただし、本事業に要する予算額の上限に達した時点で受付終了。

詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

<http://www.chuokai-kyoto.jp/>

京都地域ものづくり技術者マッチング

検索

〈お問合せ先〉 京都府中小企業団体中央会 担当：山村・門・山口
☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

東日本大震災義援金のご報告とお礼

平成23年3月11日に発生した東日本大震災におきまして、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本会では、想像を絶する甚大な被害をもたらした東日本大震災において、被災された県中央会への支援及び中小企業者の復興に役立てていただくため、平成23年3月22日から平成23年9月30日まで本会会員団体及び傘下の中小企業者の方々のご協力のもと、取引先や商店街等の来店者など幅広く広げられた募金活動の輪により、総額7,417,000円の義援金をお預かりしました。

皆様からお預かり致しました義援金は、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の各県庁及び県中央会に訪れ、義援金の目録をお渡し、全額を送金致しました。

被災地の一日も早い復旧をお祈りしますとともに、ご協力いただきました皆さまに心から厚くお礼申し上げます。



平成23年5月以降お預かりした義援金を福島県商工労働部へ(H23.10.26)

～メンタルケア～『それは企業の新しいリスク・マネジメントです。』 大丈夫ですか？あなたの会社のメンタルヘルスケア！

近年の社会情勢不安、労働環境の変化等により、労働者のメンタルヘルス不調者が増加する中、経営の安定や生産性を維持するとともに、労働者の健康保持や精神疾患予防の観点から、企業内でのメンタルヘルス対策が急務となっております。

【職場におけるメンタルヘルス対策】

- ① 職場のストレスを整理しよう！
- ② メンタルヘルス不調を未然に防ぎ、職場を活性化！
- ③ 働きやすい快適職場づくりに取り組みましょう！
- ④ 職場のストレス要因等を把握し、改善目標と対策を検討！
- ⑤ 実効性のある改善活動を展開しましょう！
- ⑥ 働きやすい職場づくりのために、組織資源の効率的な活用を！

メンタルヘルスケアのチェックポイント

- 仕事の変化(・仕事が遅くなる・報告、相談、連絡が少なくなる etc)
- 行動の変化(・遅刻や早退が多くなる・考え込んだり、独り言等不自然な言動が目立つ etc)
- 対人関係での変化(・あいさつをしなくなる・不平、不満が多く、周囲の人と対立することが多くなる etc)
- 情緒の安定度の変化(・不機嫌、怒り、イライラした態度が目立つ・不自然なほど明るく振舞う etc)
- 体調の変化(・顔色が悪くなる・目立ってやせてくる etc)

京都府では、特に中小企業の方々を対象に、次の事業を実施しています

■メンタルヘルスセミナー

メンタルヘルスに関する基礎知識や対策のポイント、健康な職場風土作り等について、中小企業ですぐに役立つセミナーを実施(24年2月開催予定)

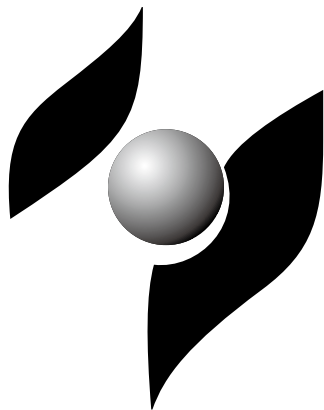
■メンタルヘルス・ポータルサイト

仕事・職場に関する府内のメンタルヘルス専門相談機関の窓口を案内するなど、京都府内で働く人に使いやすいポータルサイトを京都府ホームページ内に開設(12月開設予定)

※詳しくは、京都府ホームページ(<http://www.pref.kyoto.jp>)をご覧ください。

お問合せ

京都府商工労働観光部労政課 労働教育・福祉担当 TEL 075-414-5085
株式会社 パソナ 京都府メンタルヘルスセミナー係 TEL 075-241-4447



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

● 有利な金利設定

通常の債券・定期預金(固定金利)より 高めの金利(当金庫内比較)をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

● 固定金利の半年複利

着実に、そして効率よく資産を増やせます。

● 1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

● お預け入れは、50万円以上 1円単位です。

● お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。

● 詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

	業界景況天気図	概 況
全 体	9月 → 10月 	中小企業を取り巻く経営環境は依然厳しい状況の中、タイの洪水被害の影響が懸念されている。各業界・企業において打開策を見出す取り組みが行われているものの、景気回復の明るい兆しが見えず先行き不安感は増している。
製造業 9月 ↓ 10月 	繊維・同製品 	現在でも非常に悪い状態であり、これ以上悪くなることはないと思われるが、先行き受注に関しては厳しい状況が続いている。
	出版・印刷 	前月は多少であるが仕事量が増加傾向にあったが、再び非常に厳しい状況にある。
	鉄鋼・金属 	長引く円高により先行不透明感が益々つのっており、先行き不安を感じている企業が多い。また、10月中旬から起きているタイの洪水による影響が今後出てくると考える。
	一般機械等 	大手製造業のタイ現地法人の操業停止状態が、中小製造業に直接あるいは間接的に深刻な影響を及ぼしている。復旧には数カ月要することが予測され、予断を許さない。府内の中小製造業においては、東日本大震災よりも影響が大きいのと思われる。
	その他製造業 	プラスチック製品製造業界では、電気・電子部品や精密機器部品は、円高・海外経済減速・タイの洪水の影響により受注は鈍ってきている。しかし、自動車関連は回復してきており、LED関連は増加傾向にある。
非製造業 9月 ↓ 10月 	卸 売 	繊維・衣服等卸売業界では、前月と状況は変わらず苦戦が続いている。機械器具卸売業界では、タイの洪水被害の影響で、工作機械も何千台と浸水し、日本国内でも工作機械メーカーが品薄となり、サービスの低下等の影響が起これつつある。
	小 売 	燃料小売業界では、前月に続きガソリンの内需が頭打ちとなり、店頭価格も9週連続で値下がりとなっている。10月に組合員3社が経営環境悪化を受け、サービスステーション業務を廃業、今後ともに増加する見込みである。
	商店街 	10月に入っても景気は下降するばかりである。円高の最高値を記録し、消費者の財布の紐は締まる一方である。また、新聞のチラシでは量販店の安売り合戦が続いており、デフレを助長している。
	サービス 	旅館業界では、修学旅行を除き宿泊は例年より少ない状況である。また、外国人客の宿泊は相変わらず少ない状況である。
	建 設 	一度は復調の兆しがあったが、そのまま伸びずに低調に戻ってしまった。
	運輸・倉庫 	運送業界では、荷動きについては、好転した様子はない。燃料価格は値下げされているが、今後の明るい見通しはない。倉庫業界では、保管貨物の全体の動きは、10月分の入庫は増加傾向にあり、出庫は動きが小さいことから保管残高は前年に比べ増加傾向となっている。

快晴 D値 40以上	晴れ 20~40未満	くもり 20未満~△20未満	小雨 △20~△40未満	雨 △40以上
---------------	---------------	-------------------	-----------------	------------

【お知らせ】

京都府中小企業団体中央会 平成24年 新年賀詞交歓会

日 時 平成24年1月4日(水)
午前10時30分~11時30分
場 所 京都ブライトンホテル 1階「慶祥雲の間」
京都市上京区新町通中立売(御所西)

本件に関するお問合せは
京都府中小企業団体中央会
総務情報課 ☎ 075-314-7131

平成24年 北部地域新年懇談会

日 時 平成24年1月19日(木)
午後4時15分~午後7時20分
場 所 ホテルマーレたかた
京都府舞鶴市字浜2002-3

本件に関するお問合せは
京都府中小企業団体中央会
北部事務所 ☎ 0773-76-0759

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷工業組合が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「東寺の五重塔色」です。

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、
積み立てる、備える、管理する…

京都銀行は、人生のさまざまなシーンで

皆様を応援します。

お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

京都銀行

<http://www.kyotobank.co.jp/>

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同

12/2011 平成23年12月1日発行 通巻780号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

京都市右京区西院東中水町17(西大路五条下ル) 京都府中小企業会館4階

☎ 075-314-7131 FAX 075-314-7130

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp